



2019年

3月16日(土)

時間 13:30 - 14:20

Akaura Shell mound

## ごちそうさまでした！ 赤浦貝塚

### ～貝と骨から読み解く縄文時代の里山里海暮らし～

今から約5,000年前、七尾湾に面した赤浦潟を臨む台地上に「赤浦遺跡(貝塚)」が形成されました。貝塚からは、縄文人が遺したさまざまな貝殻や動物骨が出土しています。それら貝殻や動物骨は、単に縄文人が食べた残りモノではなく、縄文時代の環境やヒトと動物の関わり合いの歴史を教えてください。赤浦貝塚ではどのような山の幸・海の幸を食べていたの？貝や骨がアクセサリーや道具になるの？遺跡にのこされた貝殻や動物骨から七尾に暮らした縄文人の里山里海利用を読み解いてみましょう。

**講師：吉永 亜紀子** (総研大 先端科学研究科 客員研究員)

縄文時代の貝利用を知ろう

## 道具になる貝・装う貝のワークショップ

2019年

3月16日(土)

時間

14:30 - 15:30

材料費：200円

縄文時代ではどのような貝がどのように利用されていたのかを学びながら道具になる貝で貝刃を作って実際に使ってみよう！七尾湾で採集された現代の貝も使ったアクセサリーを作って身に付けてみよう！